

東近江市でスクスク子育て、老後もイキイキ。

保健子育て複合施設「ハピネス」開所

特集 1

10月1日に保健子育て複合施設「ハピネス」が開所しました。この施設は、「すくすく東近江市事業」として、妊娠、出産、子育て、健康づくり、介護予防と子どもから高齢者まで切れ目なく支援が行える環境作りを目指す取組の一環で整備したものです。
4月1日から同じ敷地内に開園した「中野むくのき幼稚園」とともに、すくすく東近江市事業について紹介します。

100畳のプレイルーム
のびのび遊べるよ〜♪



① つどいの広場 子どもの遊びの場や保護者の情報交換の場として、誰でも気軽に利用できます。
② 10か月児健診 広い部屋と充実したスタッフでスムーズに受診できます。
③ 健康づくり講座 健康づくりを目指す催しも開催します。

切れ目ない支援を目指す
すくすく東近江市事業

少子高齢化・人口減少の進行、社会的ニーズの変化に対応するため、子育て支援、健康づくり、介護予防などを切れ目なく効果的に行う必要があります。その拠点を整備・運営する取組がすくすく東近江市事業です。

本市の中心市街地に位置する東中野町の旧八日市南小学校跡地を活用し、認定こども園、保健センター、子育て支援センター、市民が集える広場を一体的に整備して、各施設が連携し、社会情勢に柔軟に対応した質の高いサービスを提供します。

多くの市民の皆さんに
ハピネスを届けるために

保健子育て複合施設の「ハピネス」という愛称は、日本語で、幸福、満足、喜びなどという意味があり、この施設を使用する市民の皆さんに幸せが訪れるようにという願いから公募で選定しました。

この施設には、東近江保健センターと子育て支援センターの大きく2つの機能があります。
東近江保健センターとしては、これまで3カ所で業務を行っていた保健師を集約し、質の高い効率的な保健活動を行います。また、全ての支所に設置

している「保健師の窓口」とも連携し、きめ細やかなサポートを継続しながら、より専門性の高いサービスを提供します。

子育て支援センターとしては、100畳の広々としたプレイルームや親子のふれあい交流ができるみらいちゃんルームなどを備えており、つどいの広場や親子教室、赤ちゃん広場を開催します。子育てに関する専

門の相談員である「子育てコンシェルジュ」も配置していますので、妊娠中や子育て中の困りごとなどを気軽に相談できます。

また、東近江保健センターが行う母子保健事業と子育て支援センターの支援事業を一体的に行うことで、妊娠期から子育て期にわたり包括的な子育て支援を行います。

ほかのお母さんとの情報交換やスタッフに相談もできるので、つどいの広場にはよく参加しています。
新しいつどいの広場は、広くておもちょうも豊富なのでのびのび遊べます。



つどいの広場の利用者
安田里奈さん、涼くん（1歳2カ月）

5 東近江市の健康づくりの核 東近江保健センター



東近江市の基幹保健センター機能を持ち、健診や介護予防事業、相談ができる広い多目的室、診察室（4室）、調理室などがあります。

一緒に考えましょう
健康のこと

知ろう心とからだつくろう健康 東近江市健康フェア2018

血管年齢の推定や口臭チェック、肺年齢測定、フッ化物洗口体験、健康チェック、もの忘れチェックなどができます。

時 11月25日(日)10:00~15:00

場 保健子育て複合施設ハピネス

問 東近江保健センター ☎ 0748-23-5050

IP 050-5801-5050 FAX 0748-23-5095

3 雨の日ものびのび遊べる プレイルーム



日当たりが良く、100畳の広いプレイルーム。床暖房も完備しています。赤ちゃん用の畳スペースもあります。保育士や助産師などに相談できる「赤ちゃん広場」も定期的に開催しています。

4 一時保育室を新設 ファミリー・サポート・センター



ファミリー・サポート・センターとは、子育てのお手伝いをしてほしい人（依頼会員）と、

子育てのお手伝いができる人（協力会員）が会員登録し、ファミリー・サポート・センターのアドバイザーが橋渡し役となり、有料で援助しあう組織です。保健子育て複合施設ハピネス内に新たに専用の一時保育室を設置し、より安心して利用できるようになりました。詳しくは、子育て支援センターにお問い合わせください。

妊娠、出産、子育て、健康づくり、介護予防、防災など 『すくすく東近江市』にお任せ！



■保健子育て複合施設ハピネス

所在地 東中野町4番5号
開館日 月～金曜日
(祝日、年末年始除く)

開館時間 8:30～17:15

◆東近江保健センター

☎0748-23-5050

IP 050-5801-5050

FAX 0748-23-5095

◆子育て支援センター

☎0748-22-8201

IP 050-5801-1135

FAX 0748-29-3899

■中野むくのき幼児園

所在地 東中野町4番17号

☎0748-20-2130

IP 050-5802-3330

2 イザというときも安心 避難所・防災の拠点



保健子育て複合施設ハピネスには、非常用発電設備や備蓄庫を整備し、防災用品を配備しています。駐車場には下水道に直接接続し、災害時でも使用できる「マンホールトイレ」を設置しており、避難所としての機能とあわせて、防災拠点としても活用します。



気軽にお越しください♪

1 子どもが病気で困った時も安心 八日市病児保育室



子育てと就労の両立を支援するため、病気の回復期の子どもを一時的に預かる病児保育室を中野むくのき幼児園内に設置しています。利用方法などは幼児課(☎0748-24-5647)にお問い合わせください。

生涯を通して
幸せに暮らし続けるために

今回の特集で紹介したとおり、保健子育て複合施設ハピネスを含む「すくすく東近江市事業」は、全世代にわたり支援できる機能を持っています。市民の皆さんが生涯を通して、いきいきと幸せな暮らしを送れるよう、「妊娠・出産期の支援、子育て支援、健康づくり、介護予防」などの取組の質の向上を図ります。

平成31年度には、旧八日市南小学校のグラウンド部分に、市民の憩いの場、交流の場となる「みどりの広場」も整備する予定をしております。

保健子育て複合施設ハピネスという愛称のように、多くの市民の皆さんに幸せを届けられるよう、施設間の連携を一層強化しながら今後も取り組みますので、講座や広場などへの参加をお待ちしています。

保健子育て複合施設ハピネス
東近江保健センター
子育て支援センター

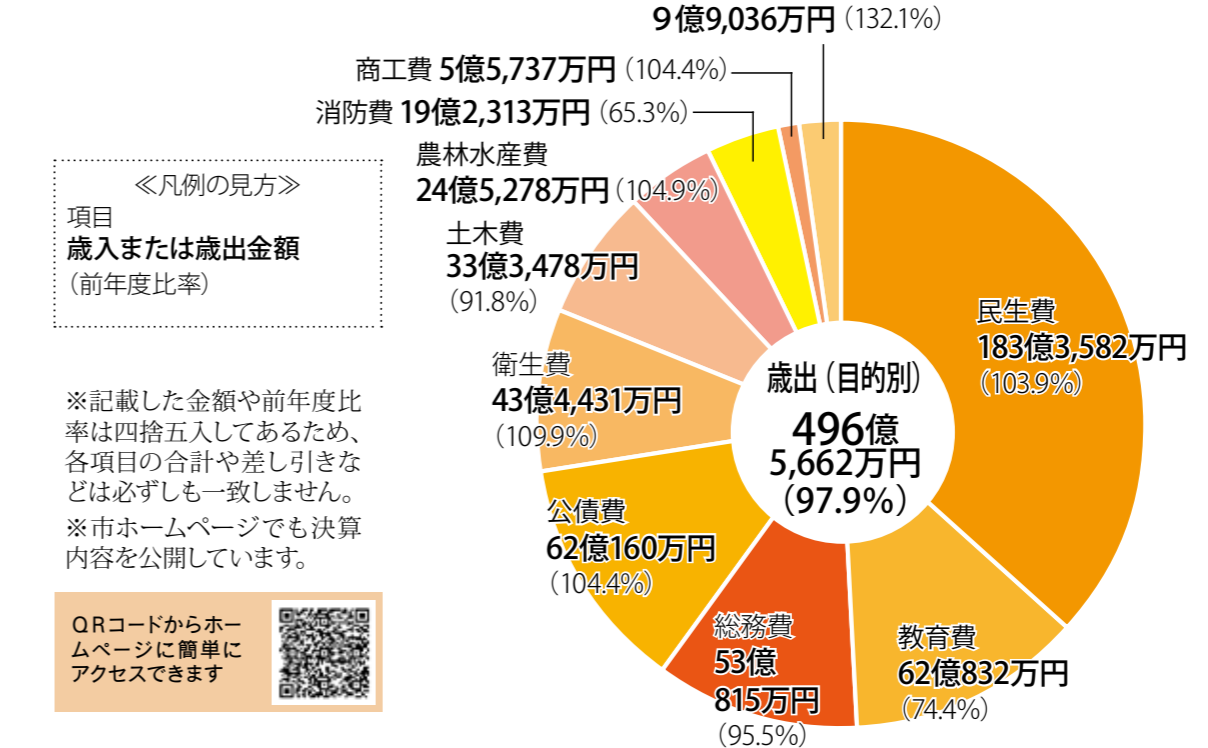
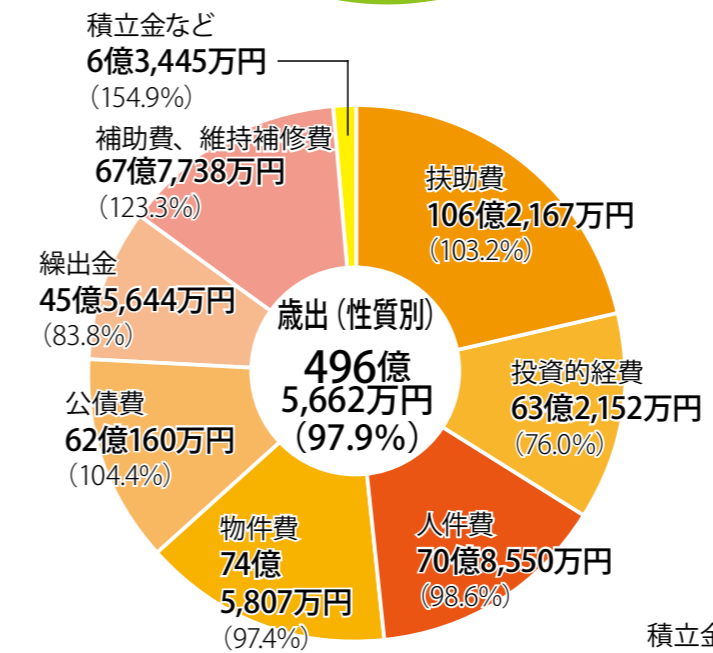
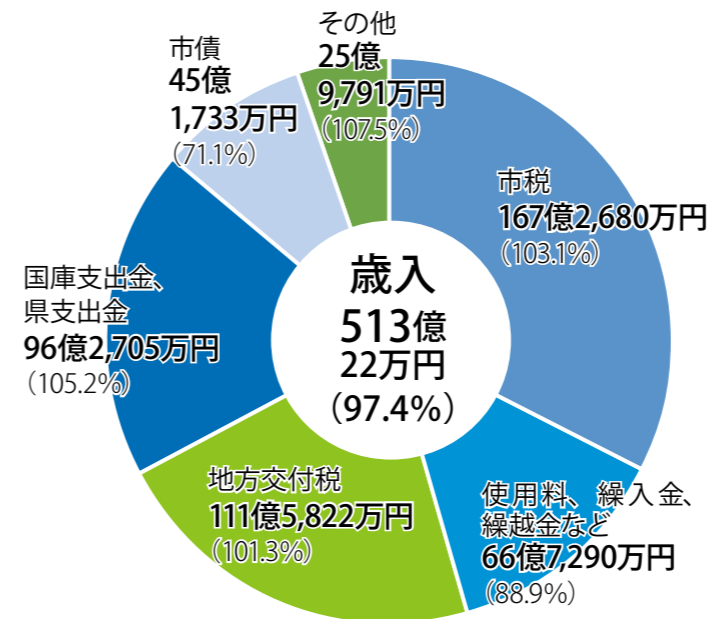
決算

特集 2

平成29年度一般会計・特別会計・企業会計の決算が9月市議会定例会で承認されました。「第二次東近江市総合計画」の各施策を推進した平成29年度の決算状況と主な事業についてお知らせします。

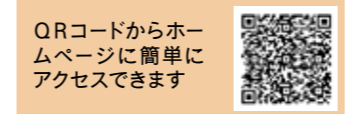
概要

平成29年度一般会計の決算額は、歳入、歳出それぞれ円グラフのとおりで、歳入歳出差引額は16億4,360万円です。このうち翌年度へ繰り越すべき財源3億7,360万円を差し引いた実質収支額は12億7,000万円です。黒字決算となりました。平成28年度決算と比較すると、歳入は、個人市民税や法人市民税など税収が増加しましたが、総じて減少となりました。歳出は、扶助費などは増加したものの、繰出金などが減少したため、総じて減少となりました。



《凡例の見方》
項目
歳入または歳出金額
(前年度比率)

※記載した金額や前年度比率は四捨五入してあるため、各項目の合計や差し引きなどは必ずしも一致しません。
※市ホームページでも決算内容を公開しています。



主な事業



- 道の駅あいとうマーガレットステーションを改修
- 能登川中学校を改修(防災トイレの設置)
- 鈴鹿山脈から琵琶湖までの多様な自然をステージとして「びわ湖東近江SEA TO SUMMIT」を開催

東近江市の将来に向けて

平成29年度は、地方創生への取組をさらに深化させ、若い世代から高齢者まで多くの市民が集える中心市街地のにぎわい創出、地域資源を生かし知名度とイメージアップを図る観光戦略の推進に重点を置くとともに、定住移住施策の推進、子育て支援なども行い、誰もが安心して暮らせる豊かな東近江市の創生のための取組を進めてきました。

今後も、人口減少・少子高齢化の進行に伴い、歳入では税収の減少、歳出では社会保障費の増大が予測されます。また、地方交付税に関する合併支援措置の段階的縮減が進み、平成32年度をもって終了することなどから、財政運営はさらに厳しさを増します。

「歳入に見合う歳出」を基本として、将来世代への大きな負担とならないよう、引き続き健全かつ安定した財政運営を行いながら、国や経済の動向を見極め、「うるおいとにぎわいのまち東近江市」の実現を目指します。

主な財政指標

財政力指数 0.644
(平成28年度...0.657)

財政力の強弱を表し、行政活動に必要なお金を、どれくらい自力調達できるかを示したものです。この指数が1に近づくほど、「自主財源」の割合が高く、財政力が強い自治体といえます。

前年度より指数は低下し、また平成29年度県内各市町の平均値0.730を下回っています。

経常収支比率 88.9%
(平成28年度...90.8%)

扶助費、人件費、公債費のように毎年経常的に支出される経費に、市税、地方交付税など使い道が自由で毎年入ってくる財源がどの程度充てられているかを表しています。この比率が低いほど、政策的に使える財源が多いといえます。

前年度より比率は低くなり、平成29年度県内各市町の平均値91.2%を下回っています。

☎ 0748-245602
IP 050-58015602
FAX 0748-240752

会計別決算額

- 一般会計**
まちづくりや福祉、教育など、市の一般的な事業を行う会計
- 特別会計**
一般会計とは別に、保険料など特定の収入で事業を行う会計
- 企業会計**
民間企業のように、利用料金などの収益で運営する会計

会計	歳入	歳出	
一般会計	513億22万円	496億5,662万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	126億2,565万円	122億3,864万円
	国民健康保険(施設勘定)	11億7,595万円	10億152万円
	後期高齢者医療	11億653万円	10億5,875万円
	介護保険	84億8,079万円	80億3,622万円
	農業集落排水事業	13億1,057万円	13億805万円
	公設地方卸売市場	3,731万円	3,425万円
企業会計	水道事業(収益的収支)	22億8,924万円	20億3,548万円
	下水道事業(収益的収支)	29億6,621万円	27億6,051万円
	病院事業(収益的収支)	1億4,537万円	1億4,131万円